事例No.	867
公表年度	R1
団体の属性	複数団体
団体名	静岡県伊東市、熱海市、袋井市等

事例区分	広域連携

タグ	・事務の共同実施 ・専門人材の確保 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	森林の集積・集約化

事例内容・タイトル

森林組合連合会と連携した意向調査等の実施

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年１月）

森林整備（意向調査等）

静岡県　伊東市、熱海市、袋井市等（森林組合連合会と連携した意向調査等の実施）

わがまちの税活用方針

- 静岡県内の市町では、これまでも、地域の森林組合が中心となって、森林施業の集約化を進め、森林経営計画に基づく森林整備を進めてきたところであるが、近年、世代交代に伴う森林所有者の不在村化や共有者不明森林が増加するなど、集約化による森林整備が十分進められない状況が生じている。
- 特に、林業が盛んでない市町では、森林組合が無く、森林施業の集約化を担う者が少ないため、県内全域を活動区域とする森林組合連合会のサポートにより森林の集積・集約化を進めていくことが効果的な取組。このため、県内の複数の市町において、森林組合連合会と連携した意向調査等の実施に取り組むこととしている。

主な取組・概要

・静岡県森林組合連合会では、単位森林組合が無く林業が盛んでない市町を中心に、昨年度から森林経営管理制度の周知や制度の活用方法の助言・提案等を実施している。

・静岡県内で森林経営管理制度に取り組む予定の19市町のうち、11市町の経営管理意向調査等に取り組んでいる（令和元年11月末時点）。

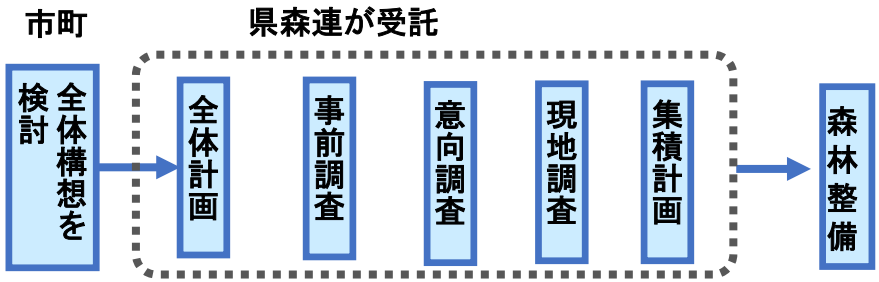


（個別相談会の様子）



（地元説明会の様子）

事業スキーム



- 市町は県森連等から助言・提案等を受けながら全体構想を検討
- 県森連が経営管理意向調査等の委託を受け実施
- 市町が林業経営体に再委託等（選定・入札等）

工夫・留意している点、特徴等

・地元説明会では県森連が大型の航空写真と公図、森林計画図を用意。スムーズな意見交換につなげた

・行政と県森連が連携して個別相談を実施。森林所有者の制度に対する不安解消に努めた。